

福岡県ベンチャービジネス支援協議会

中国における現地情報

2025年1月16日

株式会社国際融合ビジネス

中国の現地概況

2024年12月年末に現地の中国企業と日系企業との交流、及び関連機関との意見交換を行なった。中国経済は全体的に低迷が続いており、多くの企業は厳しい状況である。しかし、業種により上向き傾向の企業もある。ここでは、いくつかの要因を取り上げて、現在の中国経済を概観する。

1. 成長率の鈍化

中国経済の成長率の鈍化は、近年の経済動向の中で最も注目されるテーマの一つである。特に、過去数十年間にわたる急速な成長を経て、2024年を含む今後の成長率は、しばらく低下していく傾向にある。この成長鈍化が経済に与える影響は少なくない。

経済成長の鈍化は、人口動態の変化と少子高齢化、経済の構造転換、不動産市場の低迷、投資と借金の増加、米中関係と国際的な不確実性、消費の伸び悩み、環境規制と持続可能性などの複数の要因が絡み合った結果であり、今後の成長の鍵はこれらの要因への対応になるかと思われる。中国政府はこれらの課題を解決するため改革や政策の調整を行っており、経済の質的な向上と持続可能な成長を目指している。

2. 不動産市場の問題

不動産セクターは依然として中国経済における大きな課題であり、2023年に引き続き、2024年も多くの不動産企業が負債を抱え、業績不振が続いていた。中国の不動産市場の問題は、単なる市場の低迷にとどまらず、経済全体に深刻な影響を与える。過剰供給、企

業の負債問題、政府の規制、格差拡大などが複合的に影響し、不動産市場の崩壊が経済の大きなリスク要因となっている。

中国政府は、経済の安定を保つために不動産市場の改革を進めているが、その効果が現れるまでには時間がかかりそうで、経済の成長鈍化や金融リスクの増加に対する懸念は依然として残る。不動産市場の問題に対する政府の対応次第で、短期的なリスクや長期的な経済構造の変化が大きく異なることになるであろう。

3. 消費活動と内需の回復

中国での消費活動と内需は、全体的に少しずつ回復しているものの、いくつかの構造的な課題が依然としてある。特に、消費者行動の変化や政府の内需拡大政策によって、消費活動は回復しつつあるが、高齢化や地域格差、そして不動産市場の問題が長期的なリスク要因となる可能性がある。消費回復のペースや持続可能性を確保するためには、これらの課題に対応するための政策的な努力が必要とするが、現在内需拡大に向けた政策がすでに進められており、特に都市部の中産階級をターゲットにした消費拡大策が推進されている。

例えば、消費税の引き下げ（一部の税金を減免する政策を実施）、住宅購入の促進政策（住宅購入に対する補助金や税優遇措置を提供、また、低金利政策を採用し、住宅ローンの金利を引き下げ）、都市部での消費者向け支援策（一部の都市では、消費者が家電製品や自動車を購入する際に補助金を提供するキャンペーンを実施）、「新型都市化」政策（政府は地方都市や農村地域への都市化を進める「新型都市化」政策を推進。これにより、地方での消費拡大を目指し、インフラ整備や教育・医療サービスの充実を図り、生活水準を向上させることで消費を刺激）、デジタル経済の支援（eコマース、デジタル決済、オンラインショッピングのインフラ整備を推進。これにより、特に若年層を中心とした消費者のオンライン消費が活発化し、内需の拡大に寄与）、所得向上策と社会保障の拡充（最低賃金の引き上げや社会保障の強化）、環境・グリーン消費の促進（環境に配慮した製品やサービスを奨励するため、エコ製品の購入に対する補助金や税控除を提供。例えば、電気自動車の購入支援やエネルギー効率の高い家電の購入を促す政策など）

これらの政策を通じて、政府は消費活動の回復と内需の拡大を目指し、経済成長を支える基盤を強化しようとしている。

4. 技術とイノベーションの成長

中国は近年、技術とイノベーションの分野で急速に成長しており、多くの産業における技術革新や、国家政策の支援を受けた研究開発(R&D)の投資拡大も進めている。特に、人工知能(AI)、半導体、電気自動車(EV)、バイオテクノロジー、5G通信、そして再生可能エネルギー分野などで顕著な成長が見られている。また、政府も高付加価値産業への移行を促進しており、製造業の改革とデジタル経済の発展が焦点となっている。

一方、依然としていくつかの課題もある。特に、米国との技術戦争や、知的財産権の問題、サプライチェーンの脆弱性、技術の独自性を確保するためのリソースの不足などが挙げられる。また、技術開発においては、データのセキュリティや倫理問題、社会的影響への対応も重要な課題となっている。

5. 対外経済関係

中国の対外経済関係は、経済成長を支える重要な要素の一つであり、国際貿易、投資、技術革新を通じて、ますます強化されている。一方で、米中貿易摩擦や地政学的なリスクも存在し、課題は多いものの、貿易、投資、経済協力を通じて、世界中の国々と強力な経済的つながりを築いており、世界経済に与える影響力は年々増している。中国は今後も、世界市場における競争力を高めるとともに、国際的な経済協力や貿易を推進していくことが予想される。

6. 環境問題とグリーンエネルギー

中国の環境問題とグリーンエネルギー(再生可能エネルギー)への取り組みは、国内外で非常に注目されている。中国は世界最大の二酸化炭素(CO2)排出国であり、その経済活動が環境に与える影響は計り知れないが、一方で、中国は再生可能エネルギーや環境保護に関する政策にも積極的に取り組んでおり、環境問題への対応を強化している。

環境保護と持続可能な発展も重要なテーマであり、中国は 2050 年のカーボンニュートラル達成に向けた取り組みを加速しており、再生可能エネルギーや電気自動車、環境技術の分野での投資が増加している。これにより、新たな産業が成長し、経済のグリーン転換が進むと見られている。

まとめ

2024 年の中国経済は、成長率の鈍化や不動産問題といった課題に直面しつつも、国内消費の回復や技術革新、環境対策などのポジティブな要因もあり、全体としては緩やかに前進している。中国政府は安定した経済成長を目指してさまざまな政策を実施しており、これがどのように実を結ぶかが今後の注目ポイントとなる。

その他、アメリカの対中関税の大幅引き上げによる対米輸出減という景気の下振れの懸念がある中、中国ビジネスには課題が多い反面、世界最大級のマーケットである中国は日本にとってこれからも決して軽視できない市場であることも事実である。